

令和7年度 学校評価 中学校結果

令和8年3月末 学校教育課まとめ

No.	学校名	1 中期的目標	2 今年度重点目標	3 学校自己評価結果					4 学校関係者評価		5 総合	表示以外の 評価分野		
				項目No.	分野	重点項目	評価項目・取組内容	達成状況	取組状況改善方策	評価項目			実施方法	
1	精道中学校	一人を大事に 一秒を大事に	1.これからの時代に必要とされる生徒の育成 2.学習指導の充実と支援の工夫 3.生徒指導の充実 4.教職員の資質向上	2	1	学習指導の充実と支援の工夫	2	◎授業規律を大切に、基礎学力の定着と主体的に学ぶ態度の育成を図っている。 ◎ICT機器の効果的な活用の推進を図っている。 ◎主体的・対話的で深い学びにむけた指導の工夫を行う。	B	学習状況を把握し、個々の理解度に応じた指導を行うため、單元ごとの振り返りを取り入れてきた。また、ICTを活用した個別最適な学習環境の整備を進め、基礎的・基本的な学力の定着を図っている。支援面では、学習につまづきのある生徒に対し、少人数授業や支援員との連携を強化し、学習意欲の向上を図っている。今後は、授業改善のため、教員間の授業研究を一層活性化させるために、データ分析を共有し、支援の質を高める体制づくりを進めたい。	学校内の様子は参観日等しか分からないが、落ち着いた授業には取り組んでいる。不登校生の増加についても懸念するところである。学習面や心理的な支援を環境整備も踏まえ関係機関と連携していってほしい。	生徒・保護者・教職員アンケートを比較し差異のある部分を分析するなど、エビデンスに基づく学校評価が実施されている。また、学校運営協議会から、今年度の気づきやテーマに沿った意見集約を行い、それらを全てアンケートにより掲載、広報も踏まえ関係機関と連携して評価することができた。	今年度は生徒と教職員で肯定的な回答が概ね一致しており、丁寧な関わりを心がけた結果として捉えている。一方で教育相談をさらに充実させること、教職員が生徒の優れた側面を把握し、生徒へ肯定的特性をより丁寧に観察・理解し、それを学習場や日常の関わりで反映させる取り組みを一層充実させる必要がある。	生徒指導の充実
2	山手中学校	豊かな心を育て、確かな学力、たくましい体力を身につける 一人ひとりを大切に人間性豊かな生徒の育成	1.生徒一人ひとりの成長を大切にした教育の推進 2.自主・自立を育む教育の推進 3.教師の専門性向上とチーム力の強化 4.安全で安心な学校環境の整備	2	1	生徒指導	3	・公共の場でのルールやマナーを守る態度の育成。特に、登下校時の歩行マナーや交通安全意識の向上を図る。 ・朝終礼や学級活動における交通安全教育やマナー指導の充実。地域・パトロールとの連携強化。	B	一部の生徒には改善が見られるものの、広がり歩きや自動車のよけ方が不十分であるとの指摘が地域から寄せられている。 ・安全面の問題、交通渋滞のもととなる自動車での送迎による登校の禁止の呼びかけ。 ・定期的かつ継続的な指導の強化を図る。 ・保護者・生徒の意識向上を目的とした取組を導入する。 ・地域住民からの指摘を職員間で共有し、指導に生かす。	定期的な指導を通して具体的な学習を促進し、保護者や生徒の意識向上を図った。地域住民から寄せられたフィードバックを踏まえ、改善に取り組んだ。その結果、登下校における安全意識には一定の向上が見られたが、引き続き更なる向上が求められる。	教職員、生徒、保護者に同様の質問を設定し、各立場による回答の傾向、視点の違いを比較分析した。学校運営協議会委員には文章形式で評価をしていただき、総じて「おおむね良好」な評価を得た。	全体的には良い評価をいただいた。学校評価アンケートの結果を共有し、生徒が関わる事案は、今後丁寧な見取りや聞き取りを行い、人間関係や学校生活の様子を継続的に見守る必要がある。学校、家庭、地域が連携し生徒の成長を支えていく意識を共有していく。	地域との連携
3	潮見中学校	「絆」を深め、志を持って未来を切り開く生徒の育成 「確かな学力」の育成・自らの課題を見つけ、探求する力を養う教育の推進・伝える力、説明する力を伸ばす教育の推進 「豊かな心」の育成・共生社会に生きる上で必要な道徳性の育成・他者と自分を同じように尊重し、思いやりに満ちた人間関係の構築 「健やかな体」の育成・健康的な生活に必要な体力を主体的につける態度の育成・生涯を通じた健康づくりの推進・給食指導と連携した食育の推進	1「確かな学力」の育成 2「豊かな心」の育成 3「健やかな体」の育成 4命と人権を大切に する教育の充実	2	1	確かな学力の育成	1	◎生徒が主体的に学習に取り組む「仕掛け」づくりに取り組んだ。 ◎学校では単に、知識や技能を学ぶ場所ではないことを教職員が共通理解し取り組んだ。	B	1年生では「探求学習」で企業と連携した取り組みを進めた。また、2年生では自由進度学習に取り組んだ。教員にとってもチャレンジングな取り組みであったが、ScTN質問紙調査では生徒の主体性が上昇している結果が得られた。	新しい取り組みについて、保護者や学校運営協議会の委員の皆様からも評価されている。学びのかたちが大きく変わろうとしている今日、教員にもチャレンジしてもらいたい。	生徒、保護者、教職員を対象としたアンケートを実施し、集約してグラフ化している。また、学期に1度、学校運営協議会を開催し、学校よりや全国学力・学習状況調査の結果報告書、学校ブログを元にした資料等を用いて、学校の状況を説明し意見集約している。生徒や保護者が学校運営に対して、どう感じて、何を求めているかを分析して、引き続きより良い学校運営を目指して欲しい。	おおむね良好。今年度は「探求学習」で企業連携や自由進度学習に取り組むを評価された。また生徒の居場所づくりにしても、校内サポートルームをはじめとした不登校生に対する支援についての充実を目指してもらいたい。	不登校対応